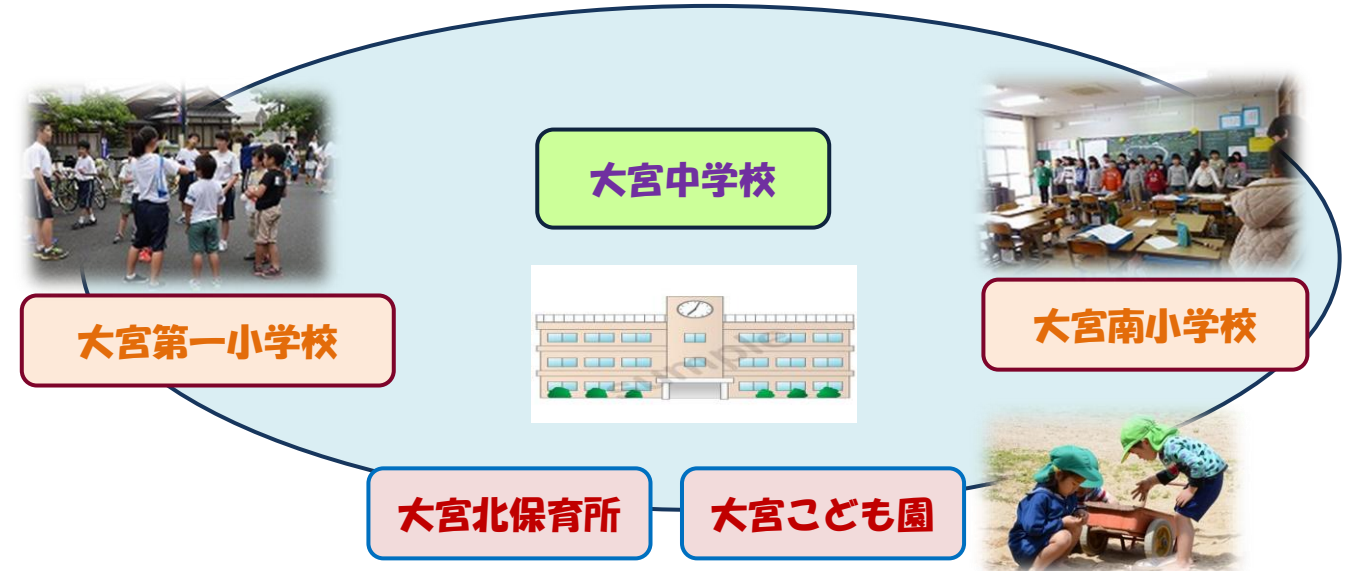
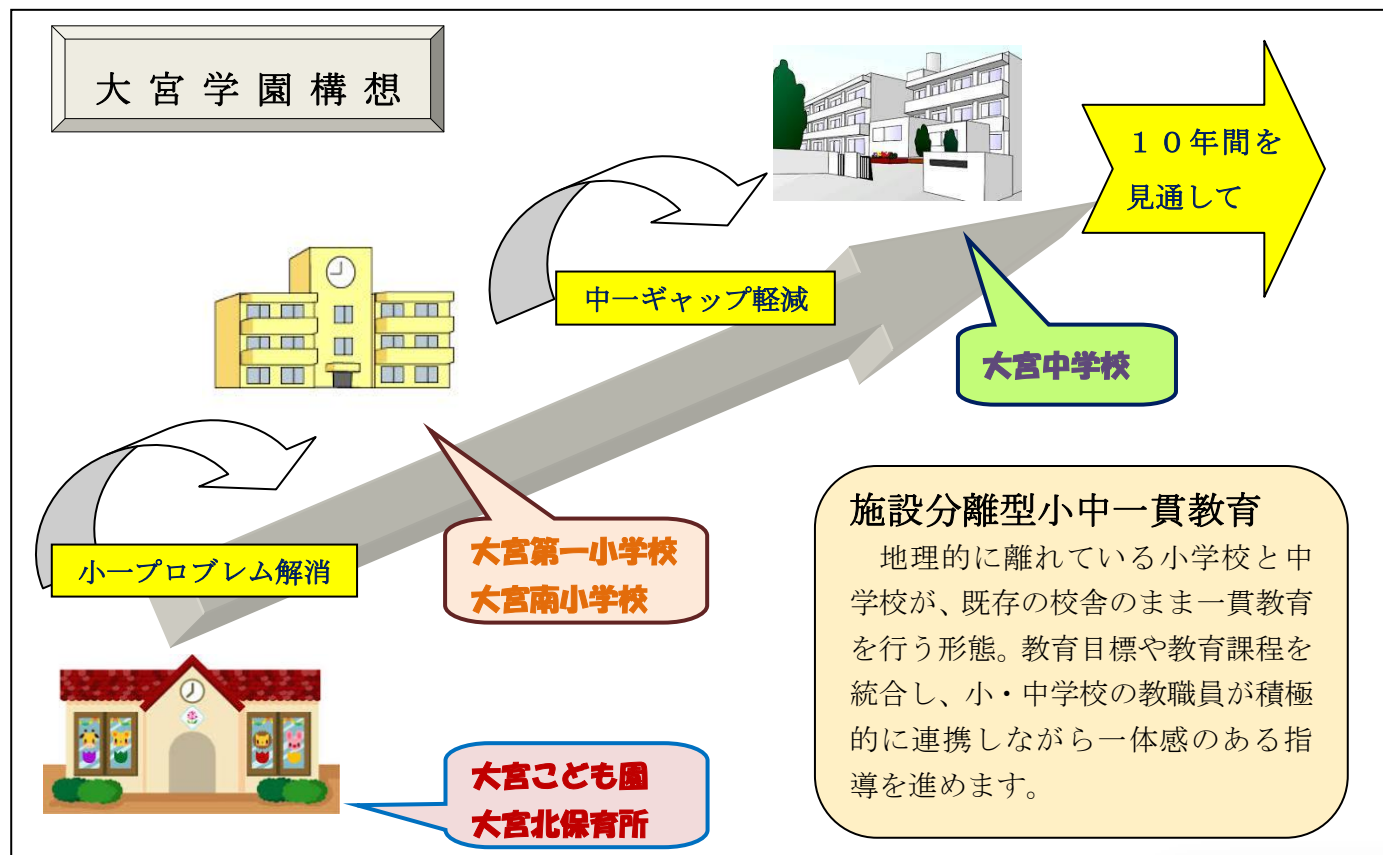


平成30年度

大宮学園小中一貫教育

響く 明るい声 咲かせる 笑顔の花 つながろう 大宮学園



大宮学園小中一貫校PTA

大宮小中一貫校PTAでは、「大宮学園の子ども達の健全な育成を図るため、家庭・学校・地域・関係機関及び各单位PTA等が連携して取組を進める。」という方針のもと、家庭教育委員会を中心に、取り組んでいます。

- 心を育てる家庭の心得（保幼・小・中学校共通）の発行
- エプロンでおはよう（あいさつ運動） 10月1日（月）

大宮学園教育支援協議会

本協議会は、子どもたちが自らの可能性を最大限に引き出し、未来を切り拓いていくために、学校・園・所、家庭、地域社会が目標や課題を共有し、連携・協力しながら教育活動の充実や地域の教育環境づくりを進めていくための会です。平成29年5月に発足しました。本協議会では、大宮学園の子どもたちや教育活動についてご意見を頂きます。頂いたご意見は、教育活動の充実に役立てていきます。

また、各団体等で活動しておられる取組等についても交流しながら、子どもたちが豊かに育つ教育環境づくり等について話し合います。

構成員（※それぞれの会、団体の代表者等から構成しています。）

大宮町区長連絡協議会 大宮町民生児童委員協議会 大宮町公民館連絡協議会 各小中学校PTA 各小中学校評議員 各小中学校（園・所）長 各小中学校教頭 京丹後市教育委員会等（地域担当指導主事 地域公民館長 学校支援ボランティアコーディネーター 小中一貫教育コーディネーター）

京丹後市の小中一貫教育方針

- 就学前から小・中学校で目指す子ども像を共有し、子どもたちの「生きる力」を育成します。
- 教育課程の編成や指導形態などの工夫改善を図り、就学前から中学校卒業までを見通して一貫した指導を大切にします。
- 子どもたちが互いに学び合う場と教職員が協働して教育活動を進める場を設定し、教育活動の連続性を高めます。
- 学園を単位として、学校等、家庭、地域社会が連携した教育環境づくりを進めます。

大宮学園「教育目標」

自他を尊重し、自ら学ぶ 子どもの育成

大宮学園「目指す子ども像」

- ◇意欲的に学び、チャレンジする子ども（知）
- ◇自他を大切にし、思いやりのある子ども（徳）
- ◇心身を鍛え、活動的な子ども（体）

大宮学園事務局
（大宮中学校内）
Tel.0772 - 64 - 2201

ホームページ
<http://www.kyoto-be.ne.jp/oomiya-jhs/cms/>

大宮学園小中一貫教育

就学前から中学校卒業までを見通した教育

大宮学園「教育目標」

自他を尊重し、自ら学ぶ 子どもの育成

大宮学園「目指す子ども像」

- 意欲的に学び、チャレンジする子ども（知）
- 自他を大切にし、思いやりのある子ども（徳）
- 心身を鍛え、活動的な子ども（体）

重点的な取組

- 確かな学力の育成を目指す授業づくりの推進
 - 自他を大切にすることを育むための人権意識の育成
 - 幼児や児童・生徒との連携・体験活動の充実
- 全ての教育活動で「ことばの力」「思いやる心」「つながる力」の育成

確かな学力の育成

同じ体験や統一した指導をすることにより、指導の一貫性・統一性を確保します。また、保幼・小・中学校の系統性を踏まえた指導による基礎学力の定着と活用力の育成を目指します。

○小中学校共通した授業づくり

- ・本時の目標を明確にした授業
- ・自分の考えを持ち、話し合いや認め合いのある授業
- ・「言語活用カリキュラム」を活用した授業

○アプローチプログラム・スタートカリキュラムの活用



児童生徒が自分の考えを持ち、ペアやグループ等で発表したり交流したりする中で自分の考えを深めます。学び合う中で「ことばの力」「思いやる心」「つながる力」が育ちます。

「言語活用カリキュラム」をもとに、発達の段階に応じた話し方、聞き方の指導をします。小さい時から学習規律を身に付けることが大切です。

保育所・こども園の5歳児担任と小学校1年担任が、また、小学校6年担任と中学校1年担任が一緒になって交流し、一貫性・系統性のある指導を目指します。



人権意識の育成

○自他を大切にする心の育成

- ・ニコニコの日（毎月25日）
- ・人権標語
- ・花いっぱい運動
- ・児童会・生徒会による学園目標、スローガンの作成及びあいさつ運動の実施

○人権学習の充実

- ・学園共通した人権アンケートを実施
- ・「人権教育カリキュラム」の活用
- ・人権意見発表会



人権意見発表会

人権学習のまとめとして、人権について学んだことや自分の考えを全校生徒の前で発表します。



児童会・生徒会本部役員合同あいさつ運動

中学校生徒会本部が呼びかけて児童会・生徒会本部役員合同会議を開催し、学園としての目標とスローガンを決め、具体的な取組としてあいさつ運動を実施しました。取組を通して学園としての一体感が生まれます。

連携・体験活動の充実

○保幼・小・中学校の円滑な接続に向けた連携活動・体験活動

- ・小中体験入学（授業体験等）、小学生部活動体験、中学校合唱祭・体育祭参加

○各校共通した学校のきまり

- ・家庭学習の手引き、中学校につなぐための「5・6年生の心得」

○夢・未来式（小4年生・中3年生）



小学校や中学校に入学した時に安定した学校生活が過ごせるよう、保幼小連携や小小連携、また、小学校や中学校の行事に参加したり、体験入学を行ったりして不安を軽減します。そして、夢と希望、期待を持って入学します。